

実施内容	海外の同年代の学校生活や教育事情、日本との違いについて学ぶ異文化理解プログラム		体験領域	他者理解
日時	令和5年9月15日(金)	場所	各教室	
実施校	世田谷区立東深沢小学校			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムは、次の2点をねらいとしています。 <ol style="list-style-type: none"> ① 世界の教育や学校生活に関する日本との違い、その理由や背景等を理解することで、グローバルな視点や視野を身に付ける。 ② 各国の文化の多様性を理解し、異文化への向き合い方を考え、進んで関わろうとする態度を育てる。 ・留学生1名と5、6名の子供たちでグループを組み、対話を行うことで、異文化理解をより深めることができるようにしています。 			

留学生からの説明

・子供たちは、学校の様子や保護者の送迎による登校など、外国と日本との違いについての話を集中して聞いたり、ときどきメモをとったりしていました。また、もっと知りたいことを進んで質問する姿が見られました。

・留学生が自国の民族衣装を着て見せたり、伝統的な髪飾りを子供に付けてあげたりと、子供たちが本物に触れる体験ができました。



子供たちと留学生の交流

・はじめは少し緊張している様子でしたが、すぐに留学生と打ち解けました。

・子供たちは、「どうしてそうなっているの」、「日本ではこうしているよ」などと、留学生に質問したり感想を述べたりするなど、積極的に交流を行っていました。そうした交流を通して様々な国があるということに気付いていったようです。



子供たちの発表

・プログラムの最後は、留学生から学んだことを、グループごとに発表しました。どのグループも、異なる文化に触れたことによる学びを堂々と表現していました。

・当该校では、年間指導計画に今回の体験活動を位置付け、意図的・計画的に学習を進め、当日を迎えたそうです。原稿やメモに頼らず、友達と協力して自分たちの考えを発表する姿から、これまでの学習の積み重ねが感じられました。



参加した児童の声・反応

- ・交流をしてみて「一緒だな」と思うことがあったり、「へー！」と驚いたりすることもあり、とても楽しかったです。
- ・このようなプログラムがあることはすごくいいことだと思います。なぜなら、他の国のことを知ることで自分の考えが広がるし楽しいからです。
- ・日本と色々な違いがあって、国が異なるとこんなにも違いがあるんだと思い、聞いていて面白かったです。